

科目名: 高齢者心理学		科目コード	HA57	
科目主査: 杉山 美香		担当講師: 杉山 美香	単位	2
			配当年次	1
授業の目的と概要	グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	カテ・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 望ましい <input type="checkbox"/> 不要	
<p>かつて老年期は、人生区分の最終段階であり、身体の老化とともに心理的衰退をみる時期とされていました。しかし、高齢社会を迎えている現在においては、あてはまらなくなっていると言ってもよいのではないのでしょうか。本科目では、老年期における心理を、幼児期から成人期までの発達段階での生き方を通して学んでいきます。将来の自分の身近な事柄として学ぶことで、理解を深めます。</p>				
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:		
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読し、わからない点や自信のない点があったら、マーキングしましょう。理解度テストに解答しましょう。			
テキスト	『老年期の心理学』福屋 武人(編著), 学術図書出版社, 2014年			
この科目の 到達目標	<p>①加齢に関する変化や、高齢者特有の精神疾患とその対応について説明することができる。</p> <p>②高齢者を取り巻く制度や社会について説明することができる。</p> <p>③高齢者心理学に関する理論を基に、自分の考えを理論的に述べるることができる。</p>			
成績評価 の方法	<p>テキストの理解度をみるための理解度テストを授業開始時に実施します。事前にテキストを読み込み、学習して下さい。</p> <p>最終試験は出題文章の正誤判定20問と論述1問を出題します。授業をきちんと聞くこと、重要な点はノートにまとめてください。</p> <p>試験へのテキストおよびノートの持込は可とします。</p>			
事後学習	<p>参考文献はもちろん、国の介護予防・生活支援総合事業や認知症施策が掲載されている厚生労働省のホームページ、内閣府の高齢者社会白書などを活用し、見識を広めましょう。</p>			
事後学習の 参考文献	<p>『新・心理学の基礎知識』中島 義明・繁樹 算男・箱田 裕司(編), 有斐閣ブックス, 2005年</p> <p>『エイジング心理学 老いについての理解と支援』谷口 幸一・佐藤 真一(編), 北大路書房, 2007年</p> <p>『高齢者心理学』権藤 恭之(編), 朝倉書店, 2008年</p>			
スクーリング受講時に用意するもの	<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具			